

週 報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

2025 年度年間聖句

「良い土地に蒔かれたものとは、
御言葉を聞いて悟る人」
(マタイによる福音書 13 章 23 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時～10 時
祈 祷 会 各水曜日

○昼の聖書研究祈祷会
(第3・午後2時)

●夕の祈祷会
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

協力牧師 堂 本 陽 子

協力牧師 井 東 炤

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65

TEL. 042-742-1593

FAX. 042-742-1393

ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>

郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計

00290-4-80707

3186 2025 年 11 月 30 日

礼 拝 式 順 序

(待降節第 1 主日～アドヴェント I 礼拝～)

司式者 井 殿 準
奏楽者 矢 野 香

前 奏	奏 楽 者
招 詞 詩編 24 : 9 ~ 10	司 式 者
讃 美 歌 2 4 2 「主を待ち望むアドヴェント」	一 同
聖 書 マルコ 1 3 : 3 ~ 2 7 (新 P. 88)	司 式 者
使徒信条 (9 3 - 4 - A)	一 同
祈 祷	司 式 者
讃 美 歌 4 1 0 「昇れよ、義の太陽」(1~5節)	一 同
説 教 「復讐から救済へ」	司 式 者
祈 祷	〃
讃 美 歌 5 5 9 「見よ、世はすべて」	一 同
献 金	〃
主の祈り (9 3 - 5 - A)	〃
頌 栄 2 7 「父・子・聖霊の」	〃
祝 祷	司 式 者
答 唱 4 0 - 6 「アーメン」	一 同
～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～	
報 告	司 式 者
讃 美 歌 9 1 「神の恵みゆたかに受け」	一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
- ・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「神は見えてくださる」

(I サムエル 16 : 1 ~ 13)

イスラエルの初代王サウルは、王となって間もなく、神の御心に背く振る舞いを繰り返した。そこで、サウルに替わる王として選出されたのがダビデであった。サムエルがダビデに油を注いで以来、「主の霊が激しくダビデに降るようになった」(13 節)。そして、ダビデは聖霊の力に導かれて、少しずつ王となるべく成長していった。

ダビデはペリシテとの戦いに次々と勝利をおさめ、人々は「サウルは千を討ち、ダビデは万を討った」と称賛した。人々の目には、ダビデこそ自分たちの王にふさわしいと映ったのだ。また、ダビデには音楽の才もあり、容姿も優れていたとも言われるが、我々が忘れてはならないのは、ダビデが油を注がれた時、彼は少年に過ぎなかったということだ。人は目に映るところを見るが、主は心によって見る。

「主は我々の心をご覧になる」とは、ある者にとっては慰め深い言葉として響き(どんなに人から誤解されて傷つくことがあっても、神は我々の心の内をご存知でいてくださる)、ある者にとっては恐ろしい言葉に聞こえる(心に浮かぶ悪しき思いは人には隠せても、神に隠すことはできない)。しかし、その両方の思いを抱えていることが肝要と言えよう。心をご覧になる神の恵みに深く感謝しつつ、神の前に自分の歩みは恥ずべきものでなかったろうかと振り返りながら、自らの歩みを整えて行くこと、目に見える体裁ではなく、心を綺麗にすることに努めることが大切なのだ。とは言え、我々の心は、そう簡単には綺麗にならない。では、どうすれば良いのだろうか？

今日は収穫感謝日であるが、作物を育てることは一朝一夕にできるものではない。神の恵みのもと、来る日も来る日も畑の世話をしたその先に、ようやく収穫の喜びはある。信仰の実りもすぐに結果が出るわけではない。大切なのは日々の積み重ねだ。ダビデが聖霊に導かれながら、日々神を信じ、神により頼んで生きた末に、王として立てられて行ったように、我々も一日一日の小さな忠実さを大切にして、良い信仰の実りをあげる者としていただこう。